

事務事業名		議会広報支援			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	0:8: 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目						
	施策名	3:4: 効率的で質の高い行政運営の確立					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~)		会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:1: 成果重視の行政運営の推進			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入		01	01	01	01	03		
根拠法令		地方自治法109条、109条の2、110条											
所属	部課名	議会事務局											
	係名	庶務係	電話	27-3111									
			内線	240									
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画 (期間限定複数年度のみ)						
定例会ごとに、議員の編集により、議会だよりを作成し、市内全戸等へ配布 (年4回) 及び会議録の作成、市ホームページの会議録検索システムの維持。 原稿の校正・編集・写真撮影・印刷契約、発注、全戸配布のための庁内作業等において、事務局職員が支援している。また、会議録、その検索システムについては、業者委託発注が主。							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
								事業費	都道府県支出金				
								事業費	地方債				
								事業費	その他				
								事業費	一般財源				
							事業費	事業費計 (A)		0			
							人件費	正規職員従事人数					
							人件費	延べ業務時間					
							人件費	人件費計 (B)		0			
							人件費	トータルコスト(A) + (B)		0			

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
定例会ごとと改選による臨時号を作成し、市内全戸へ配布 (年5回)。 編集委員会の開催。他に会議録の作成。		ア	発行回数
			回
今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 定例会ごとに作成し、市内全戸等へ配布 (年4回)。 編集委員会の開催。会議録作成発注。 原稿の校正・編集・写真撮影・印刷契約、発注、全戸配布のための庁内作業。		イ	編集委員会の開催回数
			回
今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 定例会ごとに作成し、市内全戸等へ配布 (年4回)。 編集委員会の開催。会議録作成発注。 原稿の校正・編集・写真撮影・印刷契約、発注、全戸配布のための庁内作業。		ウ	会議録作成
			回
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) 議会だより編集委員会 (間接の対象) 市民		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		カ	議会だより編集委員数
			人
		キ	人口
			人
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 編集委員会の編集、発行がスムーズにいくように支援する。 市民に議会の活動が速やかに、かつわかりやすく伝えられる。		ク	議員数
			人
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的に質の高い行政運営がなされている。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	予定日に発行できた割合
			%
		シ	配布世帯率
			%
		ス	会議録の作成率
			%

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	
			単位							
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	901	2,668	2,535	2,795	2,795	
		事業費計 (A)	千円	901	2,668	2,535	2,795	2,795		
	人件費			正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
				延べ業務時間	時間	400	400	224	224	224
				人件費計 (B)	千円	1,600	1,600	896	896	896
				トータルコスト(A) + (B)	千円	2,501	4,268	3,431	3,691	3,691
活動指標			ア	回	4	4	4	5	4	
			イ	回	28	28	28	29	28	
			ウ	回	4	4	4	5	4	
対象指標			カ	人	6	6	6	8	6	
			キ	人	43,209	42,575	42,158	-	42,000	
			ク	人		26	26	26	26	
成果指標			サ	%	100	100	100	100	100	
			シ	%	100	100	100	100	100	
			ス	%	100	100	100	100	100	

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

議員の生の視点で、議会の活動状況を伝える「議員手作りの議会報」を発行したいという提案が有志議員からあり、議会だより発行規程を設けて、編集を開始。会議録については、議会制度の導入とともに、開始。検索システムは、平成17年度から導入。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

昭和62年創刊以来、市議会だより発行規程に基づき、議員手づくりによる編集発行を行っている。これまで会議録は、冊子として印刷し、議員に配布するとともに、市民には情報公開室に置いて、閲覧に供していたが、18年3月からは、市ホームページに掲載し、インターネットでも閲覧可能になった。また、資料による情報収集については、情報通信手段の変化により、量、速さ、ともに格段に向上した。さんりく大船渡人会の参加は、開催地での参加者の減はあるが、議会側としての変化はない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

紙面についての、市民の意見は、それぞれあると思うが、編集委員会の業務を議会事務局職員が支援する事業については、特になし。市ホームページへの会議録の掲載については、始まったばかりであり、特に意見等は寄せられていないが、その他の調査、情報収集事務については、効率の良い事務処理が望まれているものと考えられる。

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市議会の活動を、議員自ら市民にわかりやすく伝えようとする活動に対し、議会事務局が支援することで、より市民の理解度が増し、ひいては市民参加の推進につながる。会議録を広く市民が閲覧することにより、議会活動に対する市民の関心や、意識も高まる。また、効率性を追求することで、より一層有益な情報の収集が可能となり、最終的には、自立した行政経営の確立に結びつくものと考えられる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 議会の活動を市民にわかりやすく提供することにより、市政に対し、市民も身近に感じ、ひいては市政に関心をもってもらうためにも、支援は必要である。また、議員意識も一層高まり、自立した行政経営に、役立つ。議員活動だけでは、資料収集活動にはおのずと限度があるが、職員が調査収集した情報を議員にも提供する必要がある。また、対外機関の連絡活動などは、事務局職員が担当する必要がある。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 発行回数、ページ数、編集委員会の開催、編集委員会の人数、支援業務に対する職員の従事時間数など、おおよそ適当な規模や回数で行っている。市民に会議録が広く閲覧されることにより、議会活動が一層充実したものになっていくと思われる。収集した情報を蓄積し、課内の職員すべてが、その情報を共有しあえば、議会の機能を一層高めることができるという点での対象職員の拡大はある。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 編集委員会委員の業務は、現在より増やすことは、困難である。会議録をホームページに掲載することにより、議員への冊子による配布をできるだけ廃止する方向で取り組み、印刷料の軽減につながる。また、収集した情報を蓄積し、課内の職員すべてが、その情報を共有しあえば、議会の機能を一層高めることができる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 議員で構成している編集委員会だけでは、編集から、校正、発行までの業務をすべて行うことは困難である。この事務を廃止すると、市民が議会会議録を閲覧する機会が大幅に減少し、ひいては議会活動の低下を招く。また、情報量も少なくなり、議会活動が時代に即応しないものになっていく可能性がある。自治体間、及び市議会の上部団体等との連絡ができなくなり、最終的には議会の機能事態が、低下していくものと考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ホームページ、市の広報。情報通信技術の進歩等により、会議録の閲覧や、調査情報収集の方法も変化すると思うが、事務事業としては、他の手段はない。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ ホームページへの掲載事業も考えられるが、インターネットは紙面より異なり、全市民に届けることは困難である。また、市の広報とは、異質なものであり、統一は困難である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 議会だより編集委員会の支援業務担当職員は、実際に議場で審議の状況を見聞かしている職員が、その状況を考慮しながら、編集、校正の支援をしており、他の職員が担当するには、人数を増やすようなことが必要。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 議員だけで編集から発行まですべて行うことは、困難であり、その支援を行っているという点で、広報を読む市民にとっても、支援を受ける編集委員にとっても妥当な状況ではないか。

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 情報収集に関しては、今以上に収集量を高め、その情報を課内の職員が共有しあうことで、それぞれの担当部門においてもこれを生かし、最終的に、議会の機能を高める。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 情報を収集するためには、情報の維持更新の業務を不断に行う必要があり、また、課内職員の情報共有のために、パソコンの共有フォルダに入力して活用するなどの方法が必要である。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 情報を収集するためには、情報の維持更新の業務を不断に行う必要があり、また、課内職員の情報共有のために、パソコンの共有フォルダに入力して活用するなどの方法が必要である。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	議会事務局長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 当市議会の議会広報は、手作りを基本としており、長所も短所も併せ持つ。発行回数が少ないこともあり、広報作成に関する一定のレベルを維持するには、事務局の支援が不可欠である。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 議会だより編集委員会による広報発行は従来どおりとなるが、昨年に続き、原稿作成にあたっての基本的な議員間の確認事項等の検討がなされるものと思われる。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
